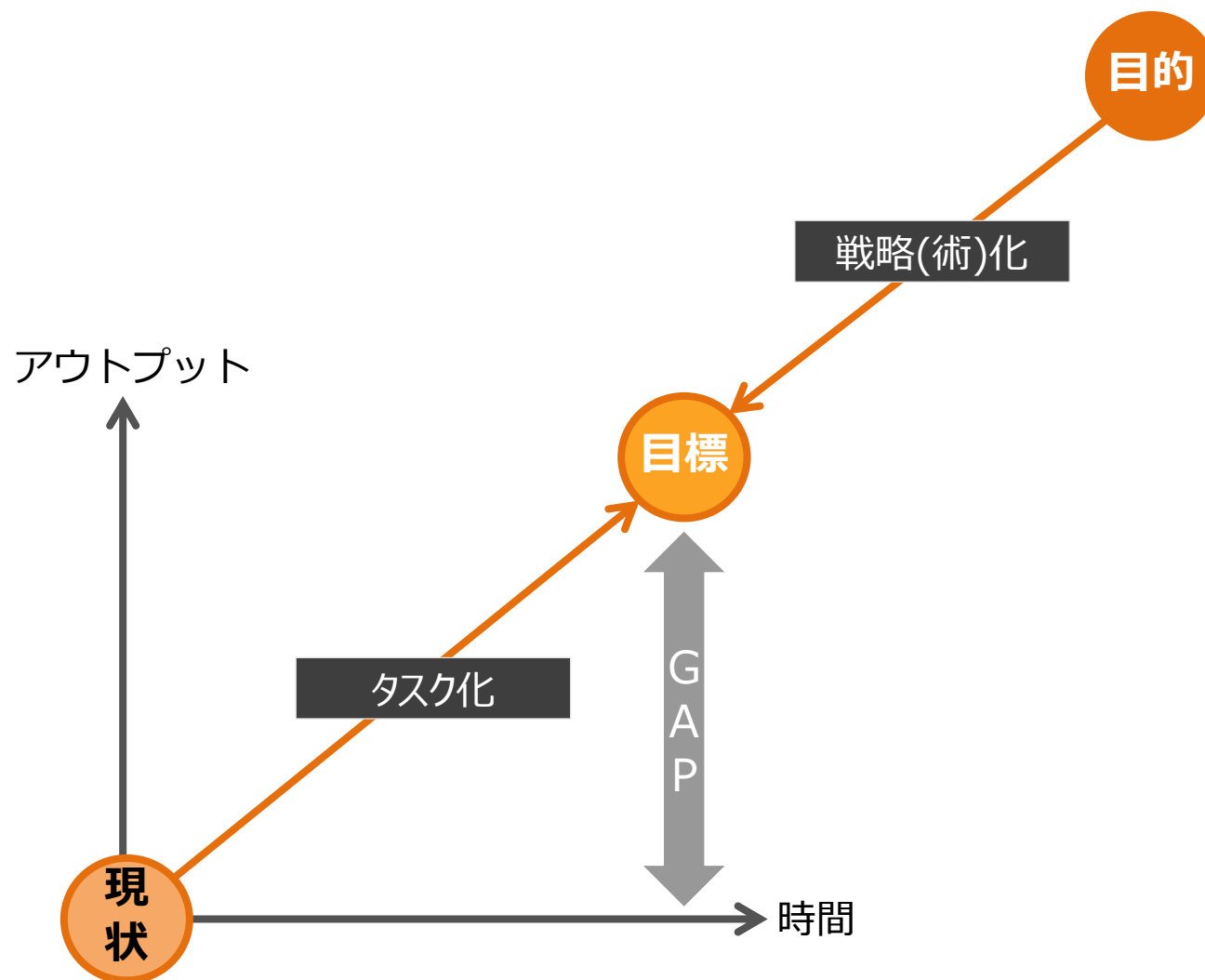


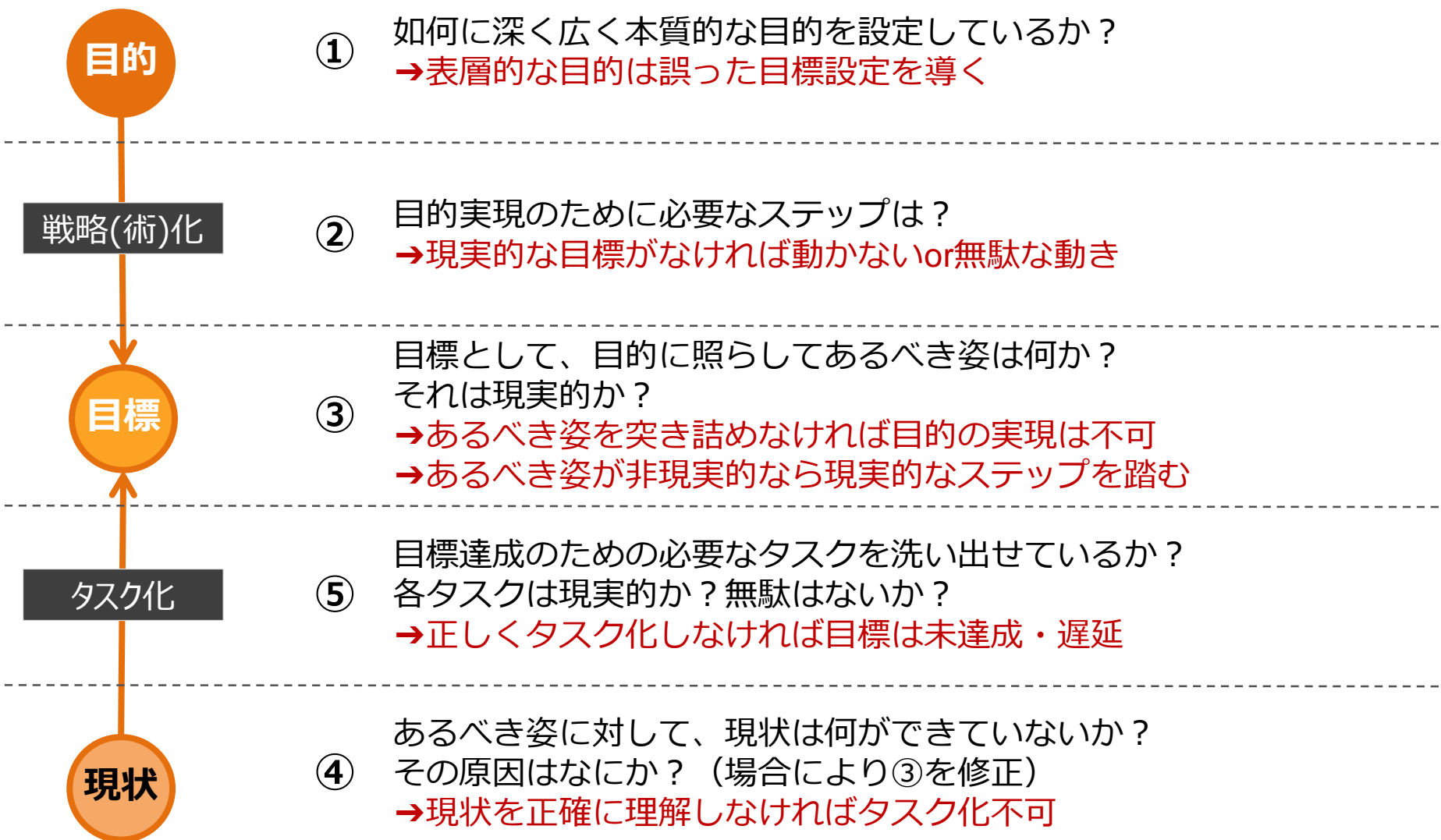
プロフェッショナリズム研修 ～ベーシック編～

「業務遂行の基本と勘所」

シンプルだが、これを徹底してできている人は世の中にあまりいない
逆に言うとこれを徹底すれば生産性（＝自身の価値）は飛躍的に上がる
但し、できている人が少ないという現実が示すように簡単ではない

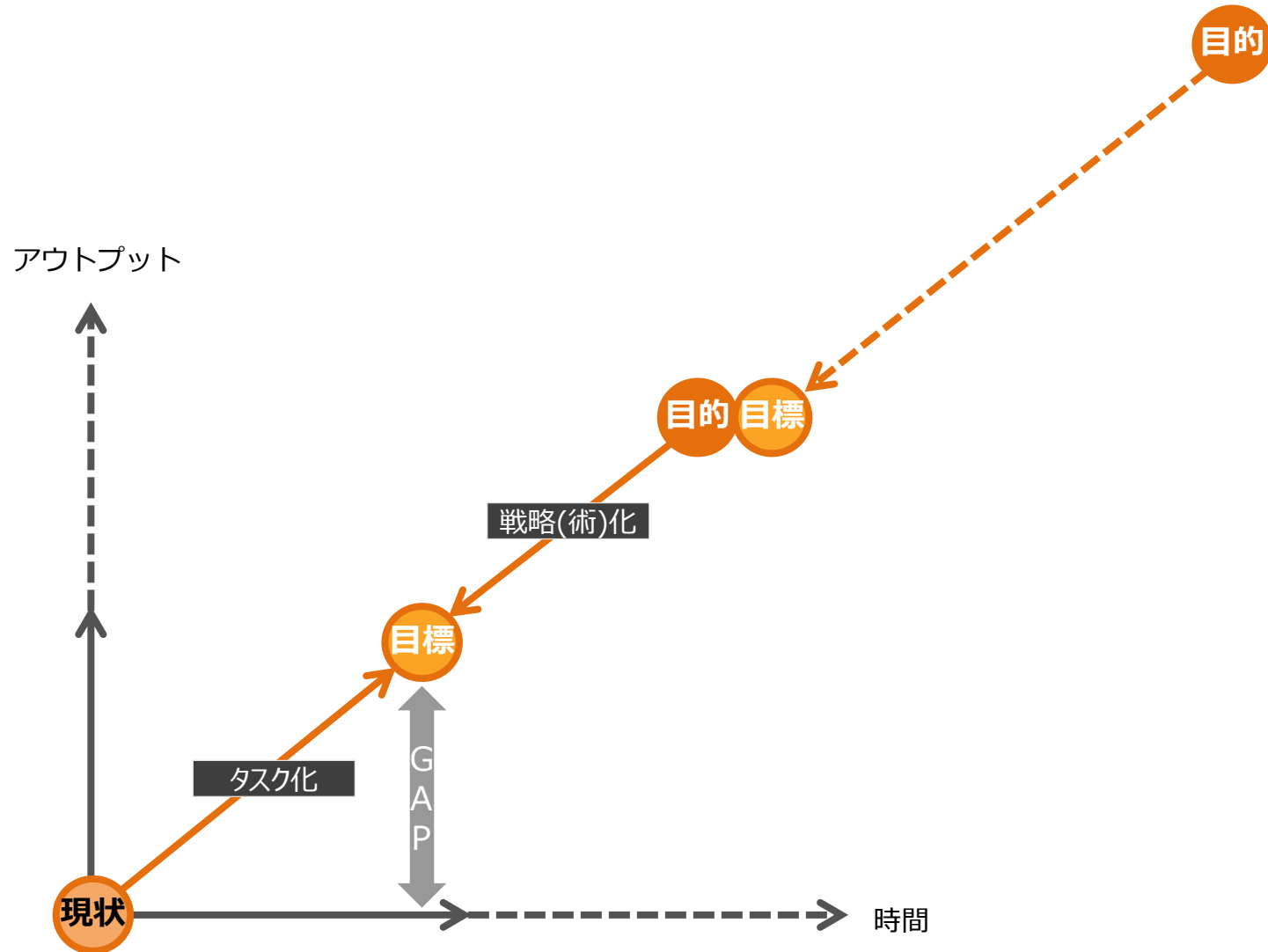


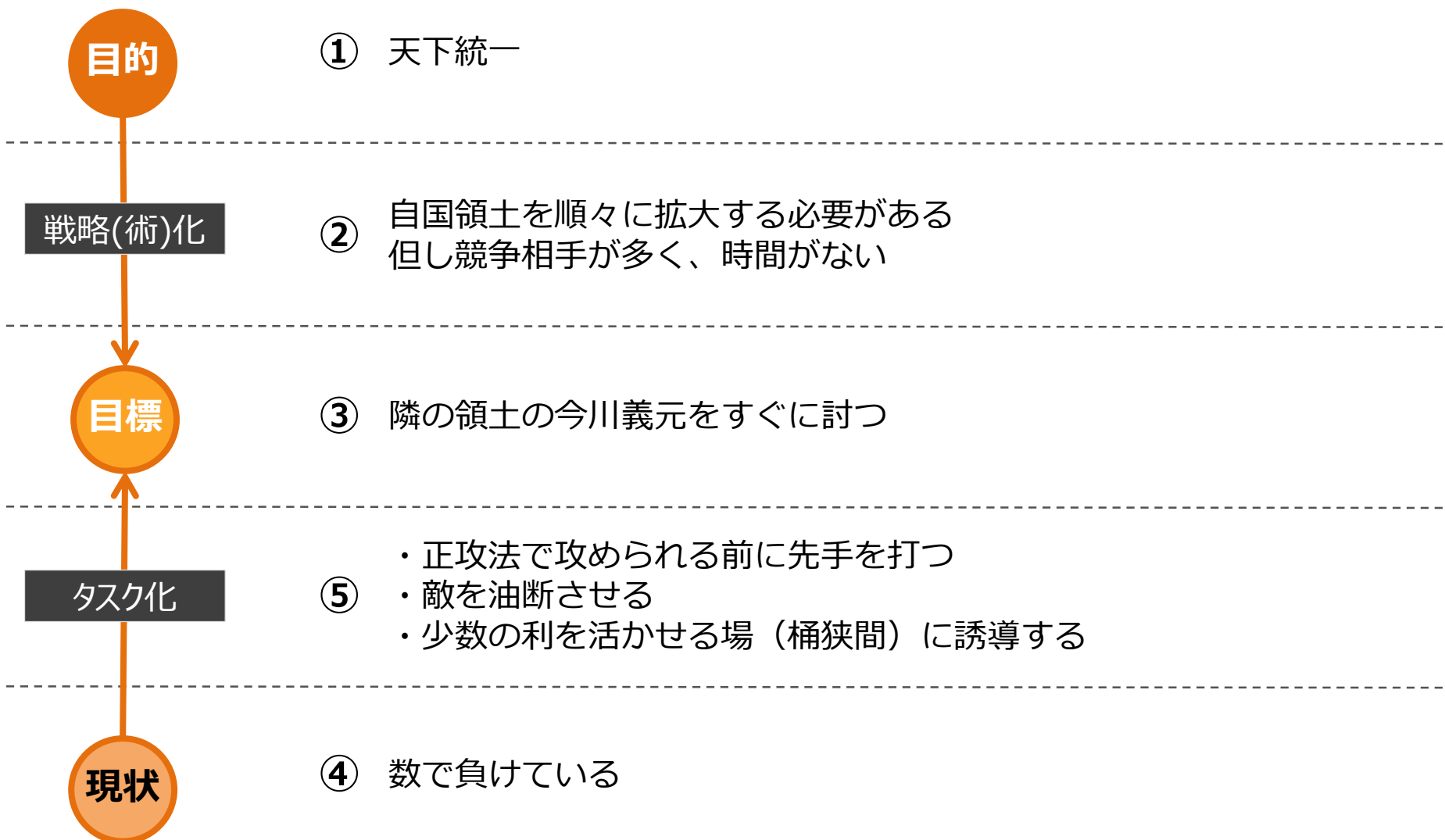
全ての行動・思考は、常に合目的かどうか自問自答し続ける必要がある

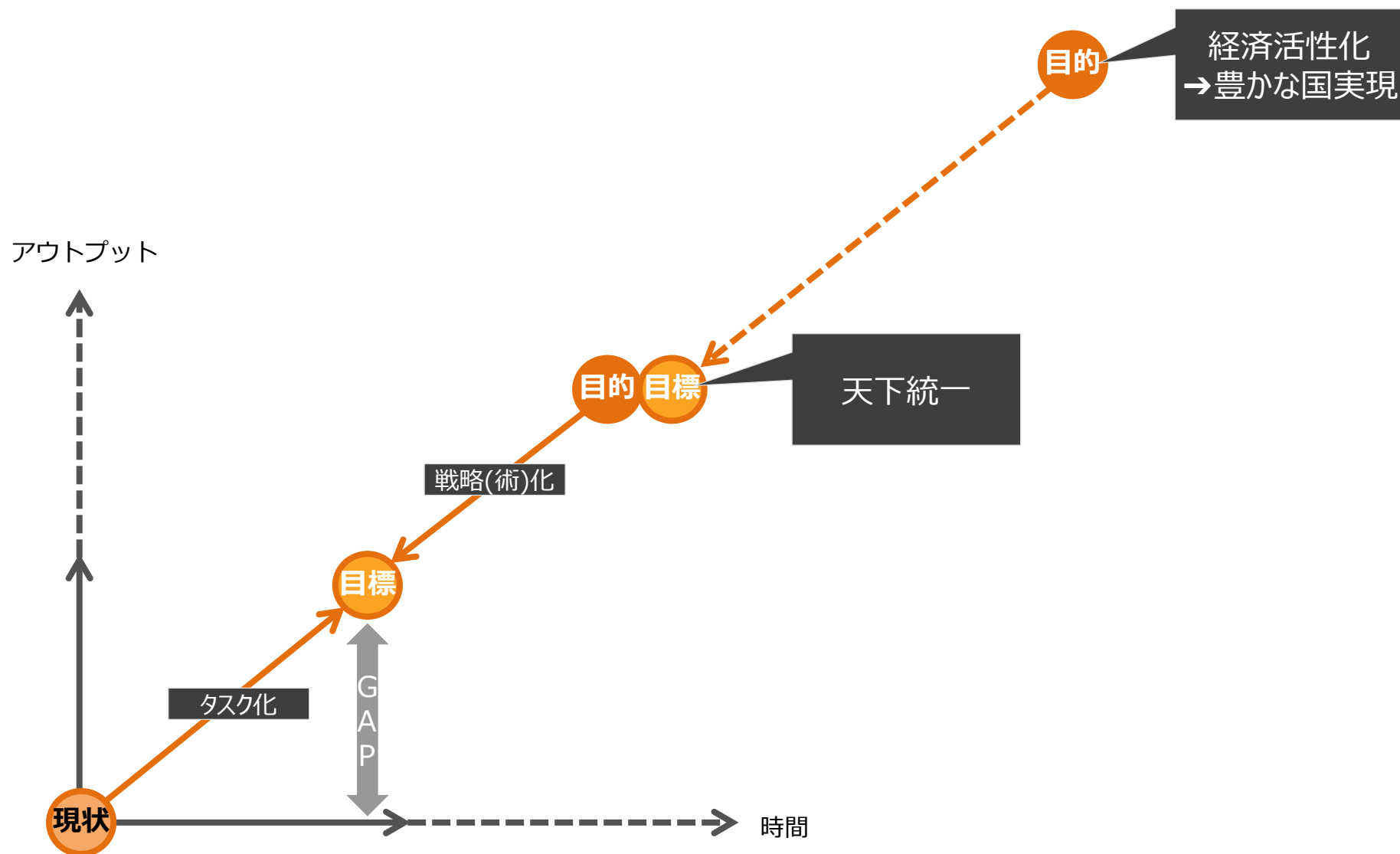


目的の階層構造

目的はさらに上位の目的の目標となる







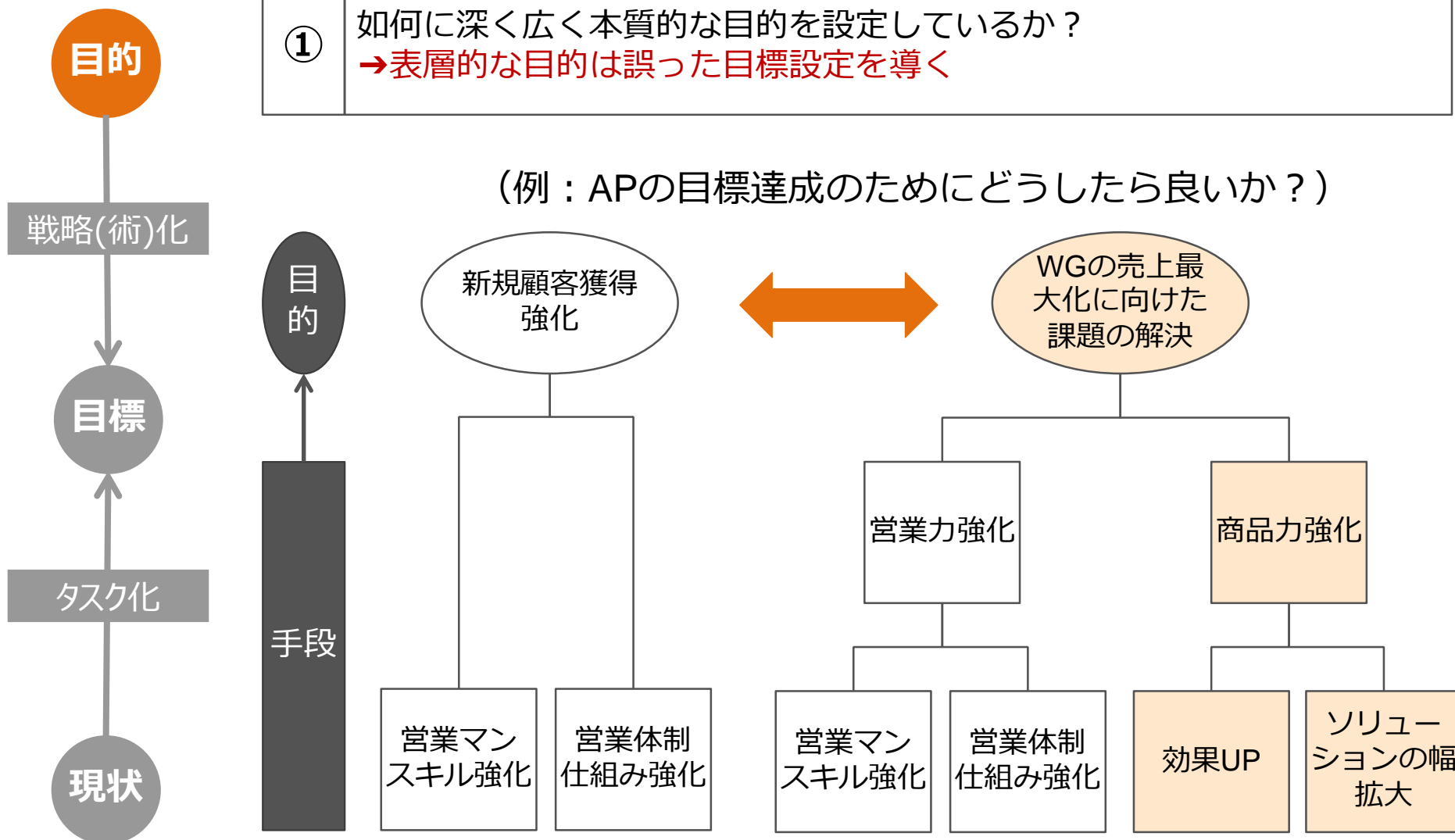
「設定した目的の妥当性」を疑うことがスタート

①

如何に深く広く本質的な目的を設定しているか？

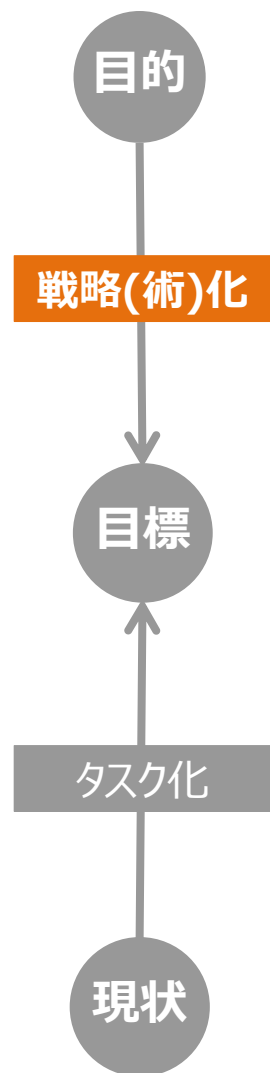
→表層的な目的は誤った目標設定を導く

(例：APの目標達成のためにどうしたら良いか？)

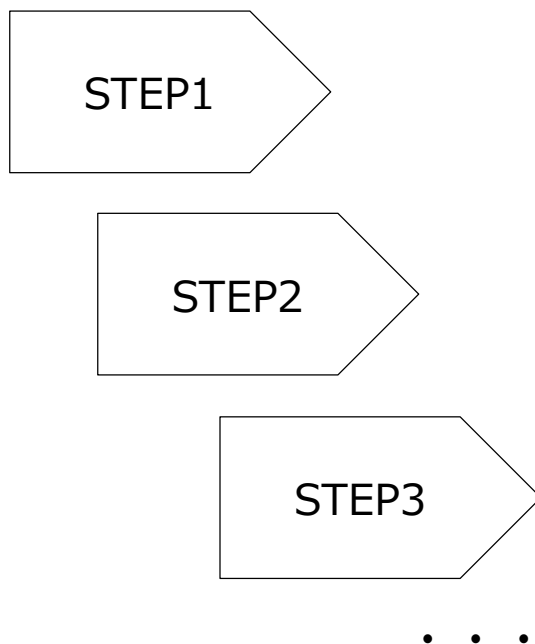


Stepの切り方やマイルストンの置き方が肝

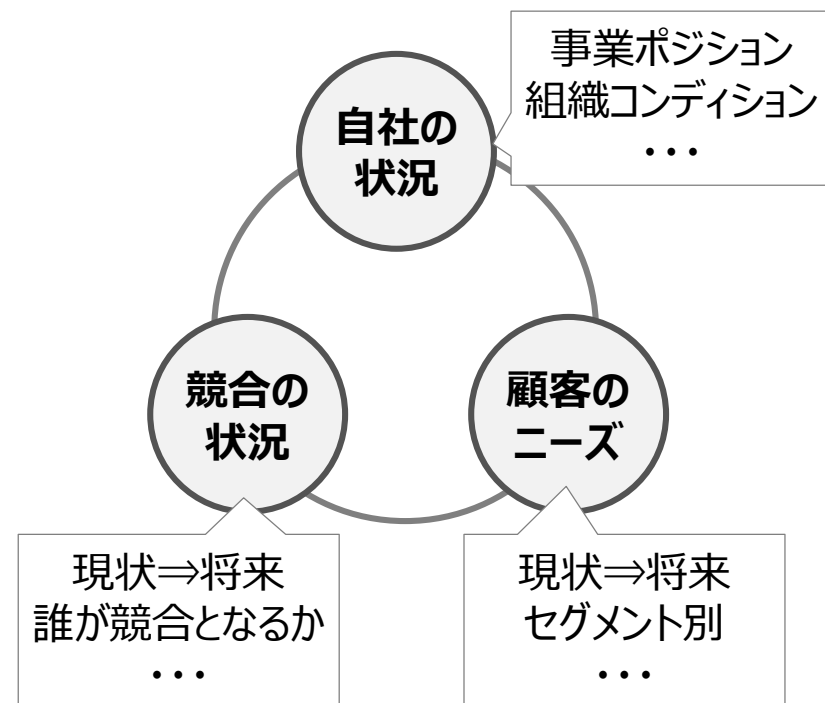
②	目的実現のために必要なステップは？ →現実的な目標がなければ動かないor無駄な動き
---	--



全ての物事は
Step by Stepで進む

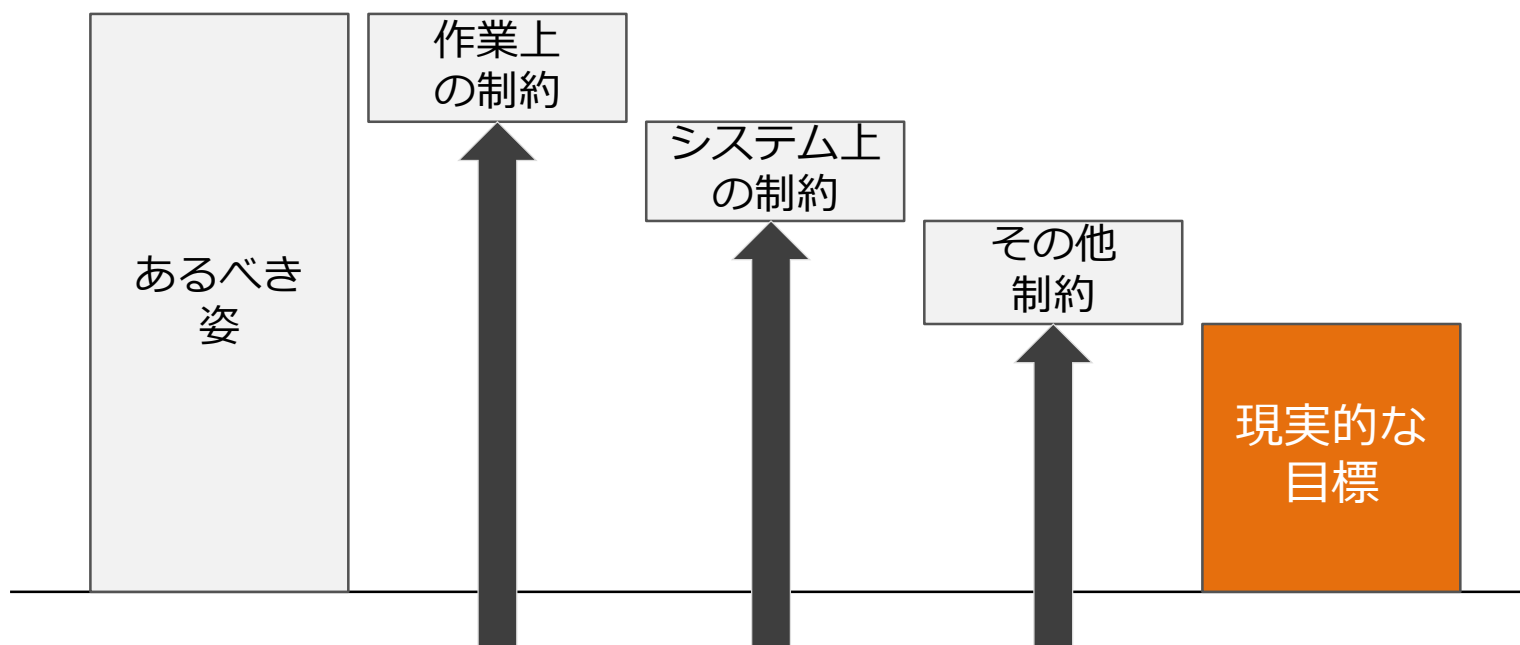


どのようなStepが現実的かつ有効かは、
様々な状況を鑑みて判断



目標は、あるべき姿からの引き算で設定する。×現状からの足し算

③	目標として、目的に照らしてあるべき姿は何か？それは現実的か？ →あるべき姿を突き詰めなければ目的の実現は不可 →あるべき姿が非現実的なら現実的なステップを踏む
④	あるべき姿に対して、現状は何ができていないか？ その原因はなにか？（場合により③を修正） →現状を正確に理解しなければタスク化不可



制約が解消できた時点で、あるべき姿に近づける

「絶対に納期までに目標達成する」という意識でタスク設定することが重要。
(それを実現するためのコツを覚えておくと良い)

⑤

目標達成のための必要なタスクを洗い出せているか？

各タスクは現実的か？無駄はないか？

→正しくタスク化しなければ目標は未達成・遅延

留意点（色々あるが、まずはこれだけ！）

1. タスクは、アウトプットをベースにする

×「**を検討」 → 何をもって完了かあいまい

○「**を整理した一覧表ドラフトを完成」

2. 後続タスクへの影響を意識する

3. タスクは、長くて2週間のイメージ

4. 期限は必達

個人でやっているうちは影響小さいが、プロジェクト関係者が増えるほど、納期“意識”の差がプロジェクトのアウトプットの差になる
一度遅延したら、スケジュールを立て直し、再度期限徹底

目的

戦略(術)化

目標

タスク化

現状